



【発信日】令和3年3月25日

【問い合わせ先】

大野市役所（1階 4番窓口）

民生環境部市民生活課 笠松、北村

電話 0779-66-1111 内線 1210

### 大野市ゼロカーボンシティ宣言について

～市民と目指すべきゴールを共有し、脱炭素社会の実現に挑戦します～

大野市は、2050年までに、大野市内の二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティの実現に挑戦することを宣言します。

#### 記

- 1 宣言日 令和3年3月25日（木）
- 2 宣言方法 市長による表明
- 3 背景等
  - ・地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界規模での猛暑や集中豪雨などの自然災害が頻発
  - ・国内外の脱炭素化に対する要請の高まり
  - 2015年 パリ協定
  - 2018年 IPCC「1.5℃特別報告書」
  - 2020年7月 福井県・ゼロカーボンシティ宣言
  - 2020年10月 国・脱炭素社会の実現を目指す旨を宣言
- 4 今後の取組 第三期大野市環境基本計画に基づき、脱炭素化に向けた行動の促進やまちづくりの推進に取り組んでいきます。
- 5 その他
  - ・「大野市ゼロカーボンシティ宣言」宣言文
  - ・「ゼロカーボンシティの実現に向けて」

# 大野市ゼロカーボンシティ宣言



近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界規模で猛暑や集中豪雨などの自然災害が頻発し、まさに「気候危機」というべき状況となっています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。2018年には、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が公表した特別報告書において、この目標を達成するためには、2050年頃には二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることが必要との見解が示されています。

こうした中、昨年10月に内閣総理大臣が「2050年に脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

大野市においても、本年3月に策定した「第三期大野市環境基本計画」に基づき、脱炭素化に向けた行動の促進やまちづくりの推進に取り組んでいきます。

日本百名山の荒島岳をはじめとする緑豊かな山々や、大野盆地を潤す清らかな九頭竜川水系、市民の誇りである湧水地と地下水、日本一にも選ばれた美しい星空など、大野市には豊かな自然が残されています。

このかけがえのない自然環境を、私たちの将来の世代に引き継いでいくためにも、全世界が挑む気候変動という難題に対し、市民や事業者の皆さんと目指すべきゴールを共有して一体となって取り組んでいかなければなりません。

大野市は、2050年までに市内の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に挑戦することを宣言します。

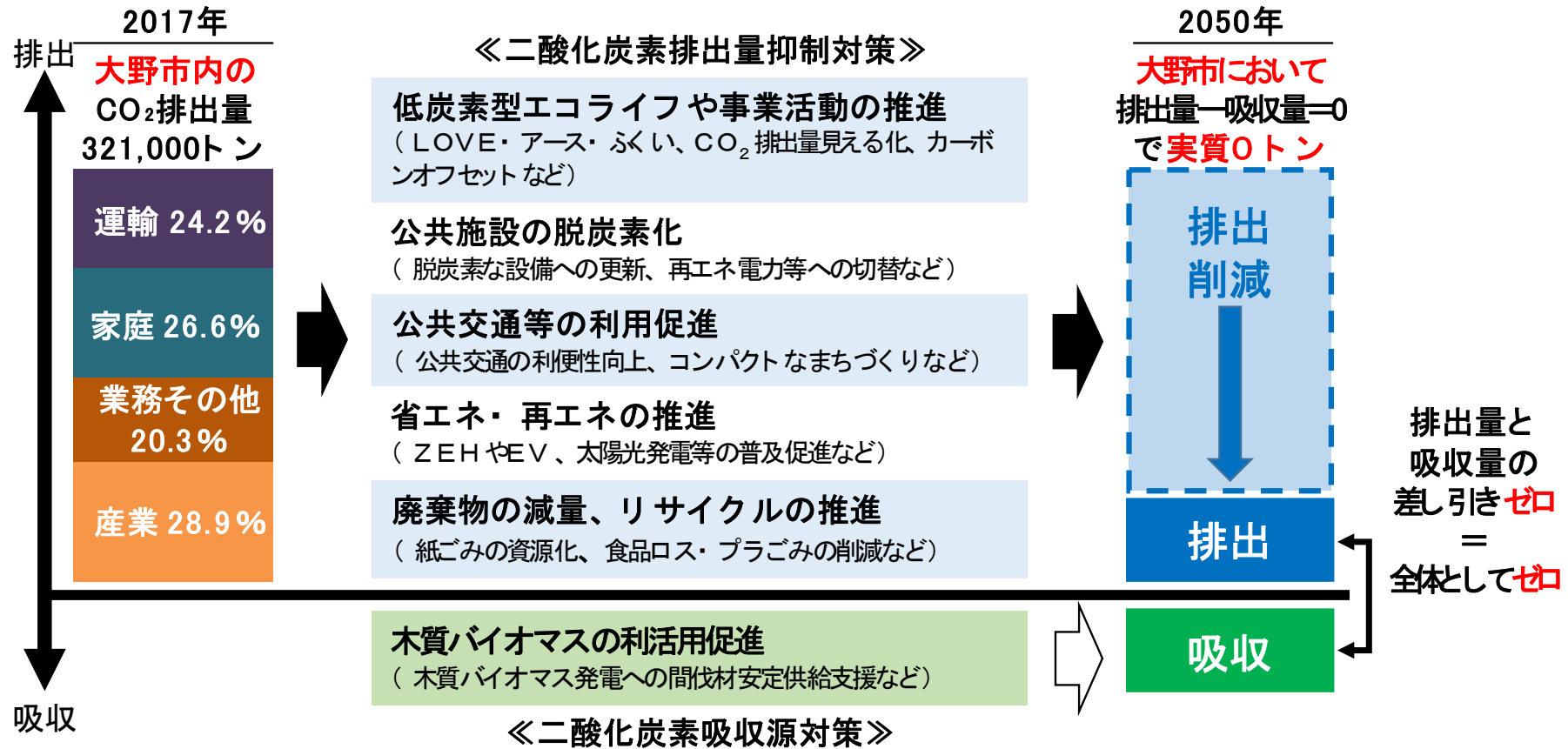


令和3年3月25日

大野市長 石山志保

# ゼロカーボンシティの実現に向けて

第三期大野市環境基本計画（令和3年3月策定）に基づき、脱炭素に向けた取り組みを進めます。



## 市民・事業者に取り組んでいただきたいこと

- 節電に心がけ、省エネ性能の高い家電や設備に買い替えよう！
- 公共交通機関を積極的に利用しよう！
- 食品の空箱やダイレクトメールなどの「雑がみ」は、資源ごみに出そう！
- マイバッグやマイボトルを利用し、使い捨てプラスチックを減らそう！
- クールビズ、ウォームビズに取り組もう！
- 太陽光発電設備や電気自動車などを導入しよう！
- 食べきり運動に協力しよう！